



介護体験を

聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第216号

令和2年1月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-2333-0061

*1月は28日(土)です

第213回介護体験を聞く会「定例会」

第213回
介護体験を聞く会

令和1年12月21日

(土)開催

出席者(職員)…柳田院長、柳田CM、柏倉CM、飯田CM、佐野CM、三浦、溝上、吉田、川村、工藤
(ご家族、他)…野々目さん、長島さん、森下さんご夫婦、藤田さん、中島さん、柳澤さん



①Aさんについてご家族と情報を共有し意見交換をしたと思います
②デイケア、デイサービス、グループホーム家族相談会

①居宅事務所提供事例検討
「受付経路」 D地域包括センターより、主治医からは中等度の認知症と言われており、声掛けあれば洋服の着脱は出来ている。家事は全て夫が行い常に目が離せない為夫の自由な時間がない。デイサービスを利用させた」と依頼あり。

「氏名・性別・年齢」 A様、女性、81歳
「家族状況」 夫と二人暮らし
「以前から利用しているサービス」
通所介護(週3回)く通所介護(週5回)、ショート

トステイ(隔週で3泊4日く随時)、訪問看護(週1回)、福祉用具貸与
「障害老人の日常生活自立度」
A1
「認知症である老人の日常生活自立度」
Ⅲa
「主訴・経路」
平成28年利用当初は歩行も自立、歩く事が好きで速度も速く、自宅でも休みの日には「歩きたい」と言いご主人もホッとする時間がないが後ろを必ず付いて歩いていました。平成29年頃から少しずつ認知症の進行がみられる。トイレで排泄があり、どうしていいのか分からず、便の付いた手で色々な所を触ったり、食べる事も分からなくなり、食べ物を口の中でずっとモゴモゴさせ飲み込むことも出

来ず、職員が常に付き添い声掛け介助、入浴も何をして良いのか分からず、自宅でも義歯をティッシュに包みゴミ箱に捨ててあったが何度かあり、ご主人もイライラし手をあげる行為がみられ、ショートステイも利用していたが区分変更を掛け、6月特養の申し込みをした。腎部に発赤があり、ご主人に受診を勧めるが自分なりのやり方で処置をしたり、勝手に服薬を止めてみたり、ご主人にも少し認知症の症状がみられてきた。また何度説明しても理解ができなくなってきた。
平成30年9月褥瘡が悪化し入院。8月末には特養の相談員さんがご本人に会ってみましようと言って下さり、面談があった。特養のベッドの空き待ち、ベッドが空いたと連絡が入り、11月上旬特養入所となった。
「認定情報」
要介護3く入所後、介護保険更新 要介護5
「課題分析理由」
認知症の急激な進行、キーパーソンである夫

の介護負担、疲れから虐待と思われる行為があり、褥瘡悪化と共に入院、特養入所へと繋がった。
《健康状態》
体重…平成28年50kg
平成30年65.7kgと体重増加止まらず。発語も少なくなり、喋らなくなってきた。歩行状態も不安定、今後も転倒のリスクあり。
《ADL》
・寝返り、起き上がり、



美味しい干し柿出来るかな

デイケアの朝の会の様子



移乗、歩行、食事、着衣、食事、身だしなみ、排泄、入浴、全介助
 ・移動用具 車椅子使用、使用寝具 特殊寝台・付属品・床ずれ防止用具 ほぼ全介助
 《IADL》
 調理、洗濯、掃除、お金の管理、電話をかける、できない、ご主人が全て対応、介護負担増大
 《認知》
 短期記憶問題あり、日常の意思決定を行う為の認知機能、判断できない。自分の意思の伝達能力、伝えられない。

褥瘡：仙骨部、黒色壊死があり、浸出液あり
 《口腔衛生》
 歯や義歯の汚れあり、指示の入りにくさもあり、口腔ケアは介助が必要
 《食事摂取》
 食べ物の飲み込みが出來ず、食べ物の吐き出しもみられた
 《問題行動》
 リハビリパンツの中に手を入れ、仙骨部の褥瘡処置をしてあるパットやテープを剥がしてしまいがどうして

《コミュニケーション能力》
 支障あり、意思伝達できず、分からないのでニコニコ笑っている
 《社会との関わり》
 デイサービス利用があったので、人との関わり日中あり、自宅では夫のみであった
 《排尿・排便》
 尿失禁、便失禁あり。リハビリパンツ着用、パットを使用の時トイレに入らせてしまい流すのが分からなかったためパンツが詰まることがなかった
 《スキントラブル》
 褥瘡：仙骨部、黒色壊死があり、浸出液あり
 《口腔衛生》
 歯や義歯の汚れあり、指示の入りにくさもあり、口腔ケアは介助が必要

《特別な状況》
 精神的負担、高齢による負担、夫の理解力不足、認知症状もみられ、今以上の介護はできない。特養入所となった。令和1年夏頃、食事が摂れなくなり入院、夫対応不可となり、息子さんがキーパーソンとなる。看取りは希望せず、療養型入院希望があり、特養は退所となる。(相談員さんより連絡あり) 生保の方には入

ていいのから分らずに手負えない事があった
 《介護力》
 ご主人の物忘れや理解力の低下、頑張って居られるが限界がみられた
 《居住環境》
 住居は2階、階段の昇り降りが必要、当初は昇り降りできたが足が段々と出ずらくなり歩行も困難がみられていた
 《特別な状況》
 精神的負担、高齢による負担、夫の理解力不足、認知症状もみられ、今以上の介護はできない。特養入所となった。令和1年夏頃、食事が摂れなくなり入院、夫対応不可となり、息子さんがキーパーソンとなる。看取りは希望せず、療養型入院希望があり、特養は退所となる。(相談員さんより連絡あり) 生保の方には入



飯田CM..競馬場で一人徘徊。携帯を持っていたが使えず、周囲の方がおかしいと声を掛けてくれた。
 柳田CM..進みが早い方とゆっくりな方がいますね。
 野々目さん..姉も元気だが、私が年をとったから誰かみるのだと心配。
 柳田CM..森下さんのところも急に亡くなられて。
 森下(娘)さん..しんどかったみたいです。マッサージの方が来て

れるところが限られており、行き場がない状態となっている。
 家族相談会含む対談より
 飯田CM..訪問看護師の方から連絡があり療養型に入所できた。
 柳田CM..デイサービスに来ていたが、とても元気な方だった。3年間の間に急激に落ちていった。虐待もあったが、食べる事が出来なくなった時に落ちていきますね。
 飯田CM..競馬場で一人徘徊。携帯を持っていたが使えず、周囲の方がおかしいと声を掛けてくれた。
 柳田CM..進みが早い方とゆっくりな方がいますね。
 野々目さん..姉も元気だが、私が年をとったから誰かみるのだと心配。
 柳田CM..森下さんのところも急に亡くなられて。
 森下(娘)さん..しんどかったみたいです。マッサージの方が来て



いたが、触られるのも嫌みだした。食べるのは無理だったが、こちらも水分だけは摂らせたいと。すごく本人も頑張っていた。
 肩で呼吸し始め苦しくなっていた。先生が来た時には血圧も測れない状態で病院で亡くなり、家に居させてあげればよかったなど。
 森下(婿)さん..約5年間もデイケアを利用していました。
 森下(娘)さん..85歳からまだロボケ状態だった。孫を育てていたが、

大きくなり自分の役割がなくなってきた、それから下り気味だった。88〜9まで家族の料理を作り、90を境に何も出来なくなつた。

たりしていませんね。柳澤さん…旭町だけでも老人が100人以上だっているからびっくり。柳田CM…65歳以上が増えていきますね。柳澤さん…これじゃみんなが一気に歳をとっちゃうよ。

野々目さん…頼りにされていた方がいってことですね。

柳田CM…これから災害なども多くなつていった時、動けない要介護者たちはどう対応していくのかは課題ですね。柏倉CM…何かあったときに協力できる術を知っている人がいないと困ってしまう。

柳田CM…長島さんのところも頑張っているし、みんな老々介護ですね。長島さん…やはり介護するには息抜きが必要だと感じます。

森下(娘)さん…デイケア・お泊りと上手く使ってきて来ていました。人の手がないと家だけじゃ無理です。

柳田CM…最近近所の方でも手助けが必要になつ

てきました。柳田CM…災害の時など連携の大切さを感じます。院長…世の中、災害とかな色々ありますね。みんなが協力するというのが大事になつてきますね。

(文責 デイサービス 工藤)

二回目の干し柿作り

今年も、干し柿を作りました。昨年は、大きめな高知県の物を使いましたが、今年は、少し小ぶり



な和歌山県の渋柿を使って作りました。この和歌山の干し柿は有名で少しでもそれに近づけた干し柿を作ってみたいと思い、この柿を選んでみました。作業が始まると柿が小さいので皮を剥くのに、利用者さんも「わったいへん」「手が滑るよ」「旨く剥けないよ」と、にぎやかに楽しんで作業をしました。皮むきの次は、熱湯消毒とアルコール消毒を行い、柿を紐につけて表に吊るします。

吊るした後の景色を見た利用者さんは、「子供ころを思い出すね」「綺麗な色だね」「食べるのが楽しみ」「誰かに食べられないかね」等等、ほんとに楽しい干し柿作りができました。

柿を吊るしてから約一カ月、鳥が柿をつついて食べた跡がありました。試しに食べてみるとしたら甘く美味しかったです。利用者さんには干し柿に成っていました。利用者さんに其のことを話すと鳥は食べごろがちゃんと解るんだえらいね、今年も美味しい干し柿ができました。おりがとうとスタツフにお礼を言っていました。利用者さんとスタツフが一緒に作ることで思い出として脳裏に記憶として残れば有りがたいと思います。

(デイサービス 新井幸二)

中学生の職場体験

十二月十三日川崎市立南大師中学校、二年生の生徒さん三名が職場体験学習のため、朝から一日介護体験をしました。朝は、学校に行く時間より早い時間に起きて当ホームに到着したので眠そうな様子でしたが、約40分程の概要説明と注意事項についての打ち合わせを行い、利用者の皆さんと対面しました。自己紹介をそれぞれ行い、初めは生徒の皆さんも緊張気味でしたが、体操や歌を歌う時間などで利用者の皆さんの間に入り一緒に過ごさうち、緊張もほぐれて笑顔で対応している様子には若い皆さんの柔軟性を感じました。その後はおやつ提供や昼食





熱いうちにね!

の準備、食事介助の手伝いなどで午前中はあっという間に経過し、午後からは入浴の見学や風船パレー、紙芝居、間違い探しなどのプログラムを利用者の皆さんと一緒に楽しく参加しました。

また、利用者の皆さんには中学生の若い方々と交流することで普段以上に笑顔が増え、会話にも孫と語り合うような朗らかな時間が流れており、我々職員も感心するとともに刺激を受けました。

今回の職場体験に参加された中学生の皆さんは家庭でも祖父母と同居もなるとの事で、年配の方と

12月の年末が差し迫るとある日の午後、デイケアのフロアに響き渡る機械音と蒸気とともにもち米を蒸す香りが立ち込めます。

「あれ？匂いがしてきたね」「この機械で餅を作るのか？」様々な利用者さんの声が聞こえてきます。

近代版の餅つきを昨年引き続き今年も行いました。唸り声をあげて機械が餅をついていきます。そして皆さんの前に餅が差し出されると「ほら急いで！ちよっとずつとってね！」「熱いうちにやら

接する機会がない中、短時間ではありましたが、人とかかわることの大切さや介護の仕事の大変さなど実感できたと思います。この体験を生かし将来に役立てて頂きたいと思えます。

グループホーム旭町
川村

みんなで餅つき



きなこ餅作っています

ない！とすぐに硬くなっちゃうわよ」とお餅の扱いに慣れた女性利用者さんを中心にその場が取り仕切られて次々小さなお餅が作られ、すぐさまきな粉とあんこを絡める担当に渡され、気が付いた時には皆さまの分のお皿に食べられるのを待つお皿が並んでいました。

嚙下機能を考えるとお餅を召し上がっていただくことに対するリスクも重々承知の上、日本の伝統行事である餅つきを行う意味は、何より利用者さんとの一年の締めくくりを「多くの方々と楽しむ」

初めまして、11月1日より柳田デイサービスに介護職として所属させて頂いたばかりになりました。吉田寿子（よしだひさこ）と申します。

まだまだ分からないことばかりで皆様にご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚えて皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

(デイサービス 吉田寿子)

というところにあると思えます。

※余談ですがお餅の大きさは100円玉程度となっており、皆様が食べ始められるのをスタッフは冷静に見守り、無事食べ終わられるとホッとしております。

(デイケア 杉山)

新人紹介



ミニ門松を作りました